

本来ならフレッシュな気分で新学期を迎える季節ですが、3月11日の地震・津波・原発事故と大きな地殻変動が続いています。亡くなられた方々に謹んで追悼の意を表明いたします。また、復旧活動に日夜健闘している方々にエールを送ります。そんなところ騒ぐ日々ですが、逆にこういう時だからこそ、冷静沈着に教育活動を行ってゆく必要があると思います。今月も、ネットワークの活動の現在と今後の取り組みを報告します。

◆ 目次

【1】緊急報告と最近活動報告

1. 4月2日「入試問題シンポジウムと講演会」中止のお知らせ
2. 東京部会報告
3. 大阪部会報告
4. その他

【2】イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

2011年度の夏休み経済教室の準備状況などを報告します

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

◆緊急報告1)「入試問題シンポジウムと講演会」中止(延期)のお知らせ。

4月2日に予定していた、「入試問題シンポジウムと講演会」は、地震による東京への影響が予測不可能であったこと、関東地区の各学校が地震の余波で行事等が変更されたことにより、参加の難しい先生方の増加が予想されたため中止とさせていただきます。ただし、完全な中止ではなく、状況の好転があれば、5月14日(土)に開催を準備しております。関連の先生方や参加予定であった先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、ご了承いただければ幸いです。また、今後の推移に関しては、ネットワークのHPで掲載してゆく予定です。

なお、中止のはがきを送付させていただきましたが、実施予定日が3月20日となっていました。お詫びと共に訂正させていただきます。

この件の詳細に関しては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/cancel1%20Symposium2011.04.02.pdf>

2) 東京部会が開催されました。

36回の東京部会が、3月4日に日本大学経済学部で開催されました。参加者14人。篠原代表からの報告のあと、新井から、夏の経済教室の日程・会場の確定、入試問題シンポジウムの準備、先生のたまごたち向けの経済学演習の報告、宮尾尊弘先生から、余剰や市場の効率性に関する文献報告、地理と歴史で教える経済学、など多彩な内容が報告、討論されました。

内容の概略は、以下のネットワークのHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo036report.pdf>

3) 大阪部会が開催されました。

22回の大阪部会が、3月5日に同志社大学大阪サテライトで開催されました。参加者11名。篠原代表からの報告のあと、東大阪市立縄手中学の河原和之先生の「消費税とTPPをめぐる経済学習」の実践報告がありました。河原報告は、中学三年の最後のまとめの授業での、調査、討論、立場による賛否の違いの理解、さらにまとめと発信（新聞への投書）という一連の意欲的な実践です。また、実践報告では、大阪狭山市立南中学の奥田修一郎先生からの、情報の非対称性をタケコプターで教えるという実践報告もいただきました。両実践とも、今後ネットワークのセミナー、WS等で詳細な報告をいただくことが期待される充実した実践です。

内容の概略は、以下のネットワークのHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka022report.pdf>

4) その他

①雑誌『経済セミナー』（日本評論社刊）で「中学・高校の経済教育」という連載がはじまりました。これは、中高で現在どんな経済教育の実践が行われるかを紹介する中で、大学の経済学関係者と中高の現場とどのような連携がはかれるかをねらいとしたものです。年間6回予定で、執筆者は本ネットワークの関係者が担当することになっています。第一回は4・5月号で全体状況が新井より報告されています。お読みいただければと思います。

内容の概略は、以下の日本評論社のHPをご覧ください。

http://www.nippyo.co.jp/magazine/maga_keisemi.html

②経済ワークショップ「沖縄」を実施いたしました。

3月19日（土）に経済教育ワークショップ「沖縄」を実施しました。内容の詳細は、まとめ次第ネットワークにHPに掲載いたします。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■東京部会 (No. 37) を開催します。

日時：4月14日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室

内容：夏のセミナーの内容検討、12月年次総会の内容検討など

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo037flyer.pdf>

■大阪部会 (No. 23) を開催します。

日時：5月14日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

参加方法など、確定次第ネットワークのHPに掲載いたします。

■経済教育ワークショップ「札幌」

日時：6月25日(土)

場所、内容、参加方法など、確定次第ネットワークのHPに掲載いたします。

■夏休み経済教室準備の日程と会場が決まりました。

第四回になる、東京証券取引所と共催の、「夏休み経済教室」前号では日程の確定を報告しましたが、会場も確定いたしました。

日程と会場は、名古屋が8月1・2日で会場は「ウインクあいち(愛知県産業労働センター)」、福岡が8月4・5日で会場は「福岡交通センター」、大阪8月は8・9日で会場は「天満研修センター」です。、東京中学向け8月11・12日、東京高校向け8月16・17日で、会場はいずれも「東京証券取引所」です。

今年は、地歴の先生方向けの講義や、新しい中学教科書を読み解くなどの新しい内容も企画中です。今年は、各地域の教育委員会の後援だけでなく、金融広報中央委員会、各地の金融広報委員会の後援もいただける予定です。

内容、講師などの事項は確定し次第順次HPにアップする予定です。

【 3 】 授業のヒント

3月11日の東北関東大震災は、未曾有の被害を被災地域に与えるだけでなく、まだ収束しない原発事故など、発生から三週間になろうとする現在でも、その被害や今後の推移などが予測がつかないものになっています。経済教育にも当然大きな影響を与えることは確実だと思います。以下の紹介は、地震で授業ができなくなった新井が、受講生徒に配布したプリントの一部です。こんな解説をしたのだという参考にさせていただければと思います。なお配布日は3月23日でした。

地震と原発事故を巡って…経済の観点から

① 東北関東大震災を巡って

i) 想定外の規模…ただしその想定が甘かったかもしれない

ii) 経済史的に地震を考察すると

関東大震災…復興のための資金提供（震災手形）、その焦げ付き、金融恐慌、ファシズムへ

阪神大震災…大きな打撃だったが回復、97年不況、不良債権問題の引き金の一つ、長期デフレの遠因

今回…大規模な補正予算、財源不足、赤字国債発行、消化できるか否かが問題（長期利子率に注目）、日本の地力が試されている

iii) 買占め・電力不足に関して…需要と供給の世界が今出現している

供給が減り、需要が一時的に増えると必ず品不足は起こる

→時間が解決、供給が回復し、需要が落ち着くまでが勝負

電力会社…公益企業だが民間会社

供給の割り当ては政府（強力な権限）しかできない

一時的な国家管理会社になるなど経営形態は変化の可能性

iv) ボランティアなど…外部経済の世界

体制が整わないときのボランティアは「善魔」になりかねない

絶対に必要…迷惑をかけずに自分の判断でやる「比較優位」

例：阪神のとき、バイクで化粧品などを持参した田中康夫

花をいっぱい持っていった作家・精神科医加賀乙彦

v) 外国為替市場の動き

何で今円高なの？ …美人投票の理論そのもの

実需はあるが、ほとんどは投機マネーの動き

日本の企業が円を持つはず、海外への投資も減る→ドル売り円買いと市場関係者のほとんどが予想した

長期的には、経済の弱い国の通貨は売られる→円安になる

市場を閉じたほうがよい？ …バロメーター機能から開くべき

世界がどう日本を見ているかがここから伺える

②原発事故を巡って…甚大な外部不経済が発生

予測されていた最悪の事態…広瀬隆『原子炉時限爆弾』（ダイヤモンド社）2010年10月発行など、福島は危ないとの警告

企業や推進者の責任、それを阻止修正できなかった市民の弱さ

今後は冷静に自分の判断で行動することが期待される（日頃の訓練）

【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

3月11日から私の時間は止まった感じです。当日は授業中でしたが生徒は冷静に対処していました。日頃の訓練は生きていました。その日は帰宅できなかった生徒500人近くと一部都民も含めて学校に泊まりました。先生方は数時間の仮眠で生徒の管理や資材の配布を行いました。これも日頃の準備が生きました。

地震・津波に関してはその後の被害の大きさだけでなく、原発事故の推移など単なる自然災害を超えた文明的な画期を感じながら生活しています。ネットワークの先生方の学校でも、液状化で校庭がつかえなくなったところや、いまだ断水のところなどが報告されています。計画停電の実施など被災地だけでなく、関東周辺地域での産業、生活レベルへの影響もじわじわとひろがっています。筑波大学など新聞報道などではあまり取り上げられていない大学での建物被害などもあります。マスコミ報道だけでなく様々な情報源を比較検討して、冷静な判断ができるかどうか、経済教育の地力が試されているともいえると思っています。（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/user.php>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇